

ご記入の前に必ずお読みください。

法人企業景気予測調査記入上の注意事項
(2月15日現在でご記入ください。)

○資本金(百万円未満切捨て)に変更がある場合は、訂正してください。

○連絡先に変更がある場合は訂正してください。

○直前の四半期と比較する質問については、各四半期ともその直前の四半期(例えば「1~3月」の場合「10~12月」と比較した方向性を記入してください。

○季節的要因を除いた実勢でご判断ください。

○期末判断の質問については、各四半期末の水準を記入してください。

○3つ記入することが困難な場合には、2つ又は1つ記入してください。

○「2. 不変」「4. 不明」の場合、決定要因は記入不要です。

○10の「その他」を選択した場合には、()内に具体的な要因を記入してください。

○3つ記入することが困難な場合には、2つ又は1つ記入してください。

○10の「その他」を選択した場合には、()内に具体的に記入してください。

○設問6の選択肢の詳細は裏面をご覧ください。

この調査につきまして、ご不明な点などがございましたら、管轄の下記機関にお問い合わせください。

- ・各財務局、福岡財務支局の経済調査課
- ・各財務事務所、小樽出張所及び北見出張所の財務課
- ・沖縄総合事務局の財務課経済調査室

月日()の提出期限にご協力ください。
記入例・記入上の注意事項を必ずお読みください。

政府統計
統計法に基づく國の
統計資料の収集、整備、
利用のための
統計情報の収集の保護

〒100-8940
千代田区霞が関3-1-1

株式会社 ○○電気 御中

担当者 部課名 経理課
氏名 ○○ ○○
電話 00 - 0000 - 0000 内線番号 000

法人番号 1234567 1
業種 35
地域 A1
規模 6
資本金(百万円) 1,000

I. 判断調査(季節的要因を除いた実勢でご判断ください。また、連結ベースではなく、単体ベースでご回答ください。)

1. 貴社の現況
貴社の現況について、どちらに向かっているかの質問です。各期とも、その直前の四半期と比較してご回答ください。
※売上、営業、経常利益などを総合的にご判断ください。

当期(年1~3月) 翌期(年4~6月) 翌々期(年7~9月)
10-12月と比較した1-3月の現況は、 1-3月と比較した4-6月の現況は、 4-6月と比較した7-9月の現況は、

1 上昇 2 不変 3 下降 4 不明 1 上昇 2 不変 3 下降 4 不明 1 上昇 2 不変 3 下降 4 不明

2. 貴社の現況判断の決定要因
上記1欄で上昇又は下降と回答された場合、右の選択肢から各期とも3項目を重要度の高い順にご回答ください。
1 国内需要(売上) 5 仕入以外のコスト
2 海外需要(売上) 6 資金繰り・資金調達
3 販売価格 7 株式・不動産等の資産価格
4 仕入価格 8 為替レート
9 税制・会計制度等
10 その他(新商品の開発)

3. 国内の現況
各期とも、各四半期末時点の水準をご回答ください。貴社に限りらず国内全体の現況についてご回答ください。

当期(年1~3月) 翌期(年4~6月) 翌々期(年7~9月)
1 2 3
1 上昇 2 不変 3 下降 4 不明

4. 生産・販売などのための設備
各期とも、各四半期末時点の水準をご回答ください。

当期末(年3月末) 翌期末(年6月末) 翌々期末(年9月末)
1 2 2
1 不足 2 適正 3 過大 4 不明

5.従業員数
各期とも、各四半期末時点の水準をご回答ください。貴社において給与を支払っている従業員についてご判断ください。

当期末(年3月末) 翌期末(年6月末) 翌々期末(年9月末)
1 1 2
1 不足 2 適正 3 過剰 4 不明

次の設問6、7は、前回調査と質問内容が異なりますのでご注意ください。

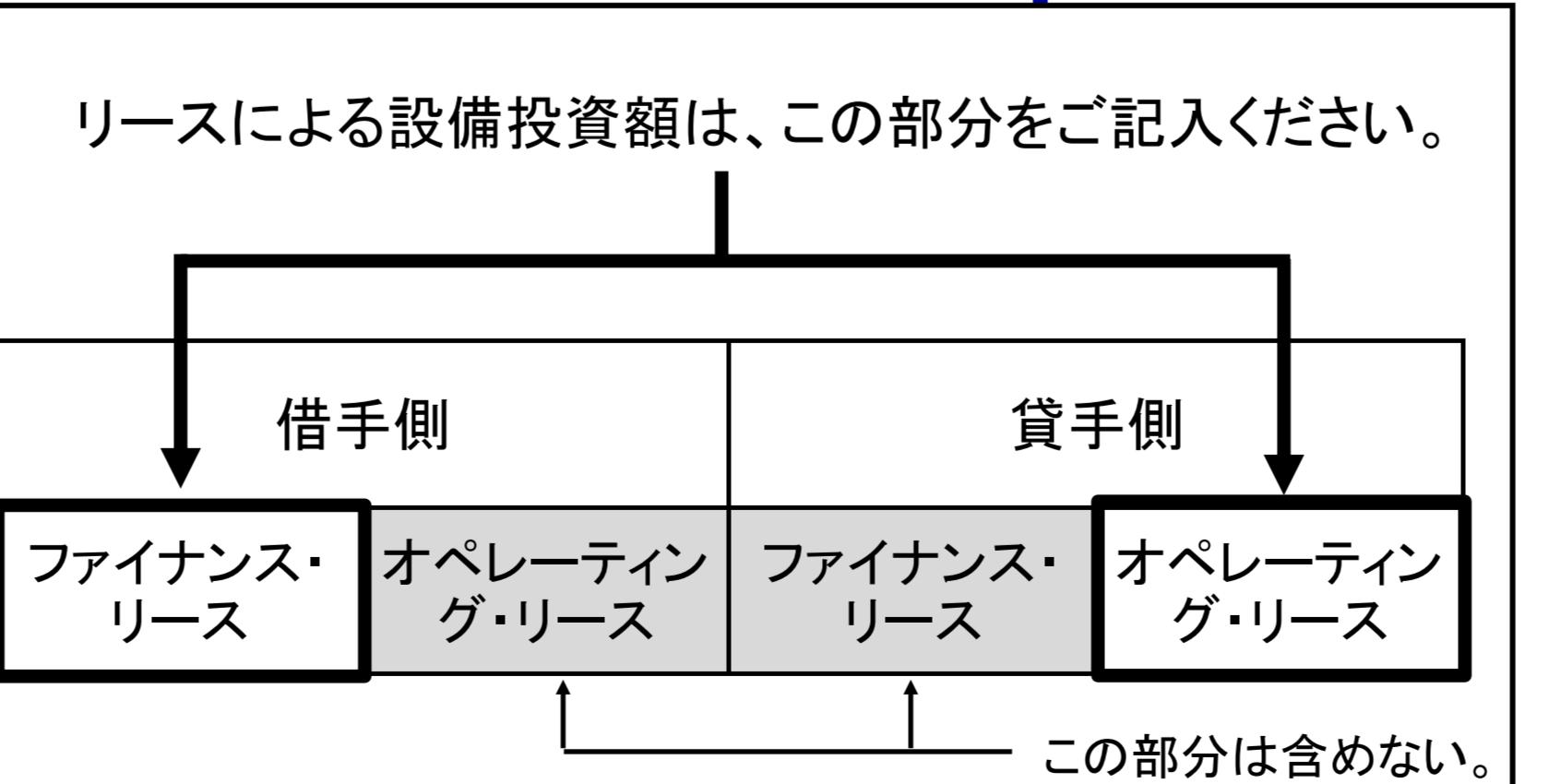
6. 今年度における設備投資計画(方針)と実績見込みとのかい離の理由
今年度の設備投資における現況見込み額が当初の計画額からかい離する理由について、以下の選択肢から3項目を重要度の高い順にご回答ください。計画を策定していない場合は、年度当初と現在の投資方針の変化理由をご回答ください。

最も重要な順
1 景気や業況の見通しの変化
2 設備投資にかかるコストの変化
3 経営課題や経営方針の変化
4 資金繰りなどの資金調達環境の変化
5 災害などの突然的な事象の発生
6 受託先等の事情による工期又は納期の変更
7 設備投資以外の投資との資金配分の変更
8 初当時の計画(方針)を撤しまし又は余裕を持って策定
9 初当時の計画(方針)どおりのため、特に理由なし
10 その他(××××)

7. 今年度における利益配分のスタンス
今年度における利益配分について、以下の選択肢から3項目を重要度の高い順にご回答ください。今年度に利益の発生が見込まれない場合でも、貴社の利益配分のスタンスを記入してください。なお、重要度は配分額でご判断ください。

最も重要な順
1 最も重要な変化
2 新規事業・新規市場開拓等による収益拡大
3 関連会社への出資、M&A
4 有利子負債削減
5 新規雇用の拡大
6 従業員への還元
7 役員報酬・賞与
8 株主への還元
9 内部留保
10 その他(××××)

★「リースに関する会計基準」の適用がある場合には、借手側ではファイナンス・リース、貸手側ではオペレーティング・リースにより、新たに計上した(する予定である)固定資産について記入してください(継続契約からの振替を除く)。



記入内容確認のため、後日ご連絡を差し上げる場合がございますので、控えの保管にご協力願います。

オンラインによる提出にご協力ください。

▷「政府統計オンライン調査総合窓口(<https://www.e-survey.go.jp/>)」から提出できます。

▷オンライン提出方法の詳細はウェブサイトにてご確認ください。

景気予測 オンライン提出

検索

調査対象法人の皆様へオンライン提出のお願い
https://www.mof.go.jp/pri/reference/change_online.htm

こちらからオンライン提出方法の詳細がご覧になれます。→


○「受取配当金」には、所有株式の配当金を記入してください。
※計上する勘定科目に関わらず記入してください。
※特別法人(中小企業協同組合等)から受ける出資金に対する配当金を含めてください。

○印字された計数に変更がある場合は訂正してください。

○印字されていない(空欄の)場合は実績を記入してください。

○「新規設備投資額」には、以下の合計額を記入してください。

①土地 整地費、造成費及び購入費の合計額。

②その他の有形固定資産 建物、構築物、機械、装置、船舶、車両、運搬具、工具、器具、備品等の新製品を取得した場合の取得価格やリースによる有形固定資産への計上額(下部★印参照)。

③建設仮勘定 設備の建設のために支出した手付金、前渡金、材料費及び設備の建設のために取得した機械等で、仮勘定として処理されたもの。

○「資産除去債務に関する会計基準」により除去費用相当額を計上した(する予定である)場合は、除去費用相当額を除いて記入してください。

○仮パスワード 「政府統計オンライン調査総合窓口」へ初めてログインする際、「パスワード」欄に入力してください。

OPINコード オンライン提出の電子調査票をダウンロードする際、「PINコード」欄に入力してください。

○連結ベースではなく、単体ベースで回答してください。

○消費税の扱いは、税抜きとしてください。やむを得ず、税込み処理とする場合は調査票下段の「経理方法の変更など」欄に税込みである旨を記入してください。

法人企業景気予測調査

内閣府
秘

II. 計数調査

百万円单位でご記入ください。百万円未満は四捨五入してください。
また、連結ベースではなく、単体ベースでご回答ください。

1. 企業収益

項目	期間	前年度(年4月~年3月)	今年度(年4月~年3月)	来年度(年4月~年3月)
8. 売上高	実績見込み	2,800 百万円	2,900 百万円	2,700 百万円
9. 経常利益	見通し	112 百万円	110 百万円	115 百万円
10. うち 受取配当金		7 百万円	10 百万円	5 百万円

2. 設備投資(年度)

項目	期間	前年度(年4月~年3月)	今年度(年4月~年3月)	来年度(年4月~年3月)
11. 新規設備投資額(※1)	実績見込み	70 百万円	65 百万円	40 百万円
12. うち 土地購入額(※2)	計画	40 百万円	10 百万円	10 百万円
13. ソフトウェア投資額(※3)		30 百万円	12 百万円	24 百万円

※1 「11.新規設備投資額」には、有形固定資産(土地、建物、構築物、機械、装置、船舶、車両、運搬具、工具、器具、備品等)の新規購入額を記入ください。本設問には土地の整地費、造成費及び購入費を含めてご記入ください。なお、建設仮勘定から振替及び中古品の購入額は含めないでください。
※2 「12.うち土地購入額」には、土地の購入費のみ記入ください。本設問には土地の整地費及び造成費は含めないでください。
※3 「13.ソフトウェア投資額」には、無形固定資産に新規に計上した(する予定である)ソフトウェアの額を記入ください。なお、他勘定科目からの振替及び中古品の購入額は含めないでください。

3. 設備投資(四半期)

項目	期間	前年度同期(年1~3月)	今期(四半期)(年1~3月)	実績見込み
14. 設備投資額(※)		50 百万円	55 百万円	

※14.設備投資額には、「11.新規設備投資額」から「12.土地購入額」を除き、「13.ソフトウェア投資額」を加えた額をご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

調査対象期間中に合併、経理方法の変更など、ご回答内容に大きな変動が生じるような事情がある場合はその旨ご記入ください。

この欄は記入しないでください。

1. 令和1年1月1日付で、当社は〇〇部門を分社。分社した部門の売上高全体に含める構成比は約15% (年度)でした。
住所、担当者とも変更はありません。
2. 当社の消費税の経理処理方法は税込みです。

確認欄 8 9 10 11 12 13 14

仮パスワード # # # # # #

PINコード # # #

○本設問は、資本金10億円以上の法人のみご回答ください。

○調査対象期間は、原則として

第1四半期：4~6月、第2四半期：7~9月
第3四半期：10~12月、第4四半期：1~3月

ですが、四半期の計数の確定ができない場合には、貴社の決算期に応じて適宜四半期に分割するなどして、ご回答してください。

設問6の選択肢の詳細について

6. 今年度における設備投資計画（方針）と実績見込みとのかい離の理由

今年度の設備投資における現在の見込み額が当初の計画額からかい離する理由について、以下の選択肢から3項目を重要度の高い順にご回答ください。計画を策定していない場合は、年度当初と現在の投資方針の変化理由をご回答ください。

<ul style="list-style-type: none">1 景気や業況の見通しの変化2 設備投資にかかるコストの変化3 経営課題や経営方針の変化4 資金繰りなどの資金調達環境の変化5 災害などの突発的な事象の発生6 受託先等の事情による工期又は納期の変更7 設備投資以外の投資との資金配分の変更8 当初の計画(方針)を厳しめ又は余裕を持って策定9 当初の計画(方針)どおりのため、特に理由なし10 その他 (××××)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="padding: 5px;">最も重要</td></tr><tr><td style="padding: 5px;">7</td></tr><tr><td style="padding: 5px;">2番目</td></tr><tr><td style="padding: 5px;">3</td></tr><tr><td style="padding: 5px;">3番目</td></tr><tr><td style="padding: 5px;">10</td></tr></table>	最も重要	7	2番目	3	3番目	10
最も重要							
7							
2番目							
3							
3番目							
10							

1 景気や業況の見通しの変化

直近のニーズの変化を指します。

3 経営課題や経営方針の変化

中長期（2～5年程度）の計画の変化を指します。

5 災害などの突発的な事象の発生

機械の破損などにより急に更新が必要となった場合などが含まれます。

6 受託先等の事情による工期又は納期の変更

短期スパンを指しており、発注はしたが、受託先、資材調達により工期が後倒しになった場合などが含まれます。

7 設備投資以外の投資との資金配分の変更

関連子会社への出資、M&A、海外投資、（会社によっては）研究開発等を指します。

8 当初の計画(方針)を厳しめ又は余裕を持って策定

年初発注予定だったが、発注しなかった場合などが含まれます。

9 当初の計画(方針)どおりのため、特に理由なし

投資計画がなしで、実際なしだった場合も含まれます。